



3月

国際女性デー (関連図書)



「それ、フェミニズムに聞いてみない？」

日々のもやもやと一緒に考えるフェミニスト・ガイド

タビ・ジャクソン・ジー／著 フレイヤ・ローズ／著
恵愛由／訳 出版：明石書店

【内容紹介】現代の女性が直面する日常生活の疑問や課題をフェミニストの視点から掘り下げる。恋愛や仕事、メディアの性差別など、幅広いテーマを取り上げ、ベル・フックスからポーヴォワールまで、さまざまなフェミニストの考えを解説。



「ガールズ・ビー・アンビシャス

一步踏み出したいあなたへ贈る21のコトバ」

集英社インターナショナル編，田中 優子ほか著
出版：集英社インターナショナル

【内容紹介】自らの人生を切り拓くだけでなく、社会通念を打ち破り、世の中の流れに影響を与える女性たち。環境活動家の露木志奈、人権活動家のマララ・ユスフザイなど、あらゆる分野で活躍する女性たちの力強い21のコトバを紹介する。



「だったら、あなたもフェミニストじゃない？」

7人と語り合うフェミニズムとの出会いとこれから」

アルテイシア／著 武田砂鉄／[ほか述] 出版：講談社

【内容紹介】フェミニスト=性差別に反対する人。その反対語はセクシスト(性差別主義者)。あなたはどっち!? 作家・アルテイシアが、武田砂鉄、楠本まき、津田大介ら7人と語り合うフェミニズムとの出会いとこれからをまとめた対談集。



「女性の権利宣言 ビジュアル版」

シェーナ出版社／編 遠藤ゆかり／訳 出版：創元社

【内容紹介】女性の権利における重要な宣言文、オランプ・ド・グージュの「女性および女性市民の権利宣言」と1967年に国連が採択した「女性に対する差別の撤廃に関する宣言」を、31人の現代芸術家が解釈したイラストと共に紹介する。



「はじめてのジェンダー論 改訂版」

加藤秀一／著 出版：有斐閣

【内容紹介】 いまだに不当な性差別や性暴力がはびこる現代社会。人はなぜ、女か男かという性別にこだわるのか。その<分類>をいかに意味づけ、社会制度に組み込んでいるのか。<分類>する実践に着目したジェンダー論の入門書。



「女性・人権・生きること
過去を知り未来をひらく」

天童 睦子／著 出版：学文社

【内容紹介】 「女性と人権」を初めて学ぶ人のための入門書。「女性と人権」にかかわる課題を、歴史的変化と国際的視野という2つの軸で取り上げ、ジェンダーの視点から考察する。



「WOMEN EMPOWERMENT 100

世界の女性をエンパワーする 100の方法」

ベッツィ・トイチュ／著 松本 裕／訳 出版：英治出版

【内容紹介】 「保健」「女の子と女性の健康」「暮らしを変えるエネルギー」など11のセクター別に、途上国の貧しい地域で暮らす女性たちのエンパワーメントに役立つツールを紹介。国際協力 NGO3 団体のスタッフによる特別座談会も収録。



「女たちのポリティクス
台頭する世界の女性政治家たち」

ブレイディみかこ／著 出版：DU BOOKS

【内容紹介】 ポリティクスという究極の「男社会」で、各国の女性指導者たちはどのように闘い、上り詰めていったのか。その政治的手腕を、激動の世界情勢と共に解き明かす。大幅に遅れる日本の問題にも言及する。『小説幻冬』掲載を書籍化。



アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か？
これからの経済と女性の話

カトリーン・マルサル／著高橋璃子／訳 出版：河出書房新社

【内容紹介】 アダム・スミスが研究中、身の周りの世話をしたのは誰？女性の家庭内労働は経済の世界から排除され、価値のないものとされてきた。男性中心の経済学に対抗するフェミニスト経済学の考え方をベースに、既存の経済学を斬る。

(TRCMARC より抜粋)



関連図書 50 冊
ご予約もできます